

## 着任のご挨拶

氏名 桑原 誠（くわばら まこと）  
本籍 山口県



### 略歴

昭和 39 年 3 月 山口県立防府高等学校卒業  
昭和 43 年 3 月 九州工業大学工学部工業化学科卒業  
昭和 48 年 3 月 東京大学大学院工学系研究科工業化学専攻  
博士課程修了 工学博士（東京大学）  
昭和 48 年 4 月 九州工業大学工学部講師  
昭和 50 年 4 月 同 助教授  
昭和 51 年 7 月～昭和 52 年 12 月 英国リーズ大学客員研究員  
昭和 62 年 8 月 同 教授  
平成 8 年 4 月 東京大学大学院工学系研究科教授  
平成 16 年 3 月 九州大学大学院総合理工学研究院教授

本年 3 月 1 日付で東京大学から本学の総合理工学研究院に転任してきました 桑原です。  
宜しくお願ひ申し上げます。

上の略歴書に示していますように、私はこれまでに九州と東京を 2 往復し、九州と東京の地でそれぞれ 26 年、13 年の年月を過ごしました。東京での生活は文京区と中野区でしたが、九州での生活は最初が北九州で 2 度目が福岡ということになります。その間、30 歳のときに英国のリーズ（ヨークシャー州の州都）に 1 年半滞在しましたが、ここ春日の緑にあふれた筑紫キャンパスの佇まいは住んでいたリーズ郊外の雰囲気を仄かに思い出させてくれます。転任してきて以来、留学当時のゆったりした気分を蘇らせながらキャンパスへの自動車通勤と総合理工学研究院での勤務を楽しんでいます。

とは言え、この 1 年間は東大に指導学生を残していることもあって頻繁に東京に出張しており、本当の意味で研究・教育を楽しめるのは来年度からになりそうですが、それでも真新しい総合研究棟(C-Cube)の小さな一室を借用し、東大から呼び寄せた学振特別研究員、ポスドク研究員、さらに本学の修士および学部学生とディスカッションしながら進めている研究はこれまでになく私に大きな期待を抱かせています。特に、これらの若い学徒が機敏な動きで研究室を立ち上げ、実験研究に目を輝かせて取り組んでいる姿を見るのは何とも嬉しいことで、彼らによって充実した毎日を過ごさせてもらっています。

定年までの数年間、この場所と空間を借りて自分の人生・研究に対するイズムの後半を確立する機会を頂いたことに感謝すると同時に、この研究と教育にとって素晴らしい環境にある総合理工学研究院と九州大学の発展のために微力を尽くす所存です。